

江 監 第 2号
平成25年 1月24日

江 田 島 市 長 様
江 田 島 市 議 会 議 長 様
江田島市教育委員会委員長 様
江田島市選挙管理委員会委員長 様
江 田 島 市 農 業 委 員 会 会 長 様
江田島市公平委員会委員長 様

江田島市監査委員 金村 謙三

江田島市監査委員 林 久光

定期監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査を実施したので、同法同条第9項、第10項及び江田島市監査委員条例第10条の規定に基づき、その結果及び意見を報告します。

目 次

	ページ
第1 監査の期間	1
第2 監査対象部局	1
第3 監査の主眼	1
第4 監査の目標	1
第5 監査の結果	2
1 一般会計歳入予算現額及び収入済額科目別状況	2
2 一般会計歳出予算現額及び支出済額科目別状況	3
3 特別会計歳入予算現額及び収入済額科目別状況	3
4 特別会計歳出予算現額及び支出済額科目別状況	4
5 収入未済額の状況	5
6 平成24年度滞納繰越金収入状況	6
7 財産管理等の状況	8
8 公用車の配属車両数及び稼働並びに管理状況	9
9 公印管理の状況	11
10 出勤簿及び休暇簿の状況	11
11 施設の利用状況	12
(1) 集会施設等の利用状況	12
(2) 市立図書館の利用状況	14
(3) プールの利用状況	15
12 契約事務の状況	16
13 施設監査	18
14 公営企業会計上半期損益状況	19
(1) 下水道事業	19
(2) 水道事業	20
(3) 交通船事業	21
第6 まとめ	22

(注) 文中及び表中の数値は、次のとおり表示もしくは算出しているため合計及び差額等が一致しない場合がある。

- ①数字は百円値を四捨五入し、千円単位で表示した。
- ②比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示した。
- ③該当数字は現存するが、単位未満のものは「0」「0.0」で表示した。
- ④該当数値がないもの、算出・比較不能のものは「―」で表示した。
- ⑤減少及び赤字(損失)は「△」で表示した。

第1 監査の期間

平成24年11月27日(火)～平成25年1月18日(金)

第2 監査対象部局

市長部局，議会，教育委員会，消防本部，公営企業，選挙管理委員会，農業委員会，公平委員会

第3 監査の主眼

- 1 財務に関する事務の執行が，適正かつ効率的に行われているか。
- 2 経営に係る事業の管理が，合理的かつ効率的に行われているか。
- 3 市の事務事業の執行に係る工事が，適正に行われているか。

第4 監査の目標

公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため，違法，不法の指摘にとどまらず，指導に重点をおいて監査を実施し，もって，市行政の適法性，効率性，妥当性の保障を期すことを目標とする。

監査を行うにあたっては，財務会計の過誤と不正の摘発に努めることはもちろん，虚偽，錯誤，脱漏を看過しないよう留意する。監査で重要なことは結果ではなく，むしろ監査を行うまでのプロセスであり，監査を行うことにより全体に波及する効果である。今回の監査項目に入っていない事項についても，日ごろから適正な事務の執行をされる契機になることを期待する。

なお，監査の対象となる事務量は膨大なものであり，実質上，その中から一部を抽出した監査になることから，結果報告書での指摘事項以外に過誤と不正の事実が皆無であることを証明するものではない。

第5 監査の結果

1 一般会計歳入予算現額及び収入済額科目別状況

平成24年9月末における、歳入予算現額に対する収入率は52.3%で、収入済額は79億8,029万6千円である。平成23年度と比較した場合、予算現額は4億614万8千円の増、収入済額は1億2,114万3千円の減となっている。

第1表 歳入の状況

(単位：千円，%)

科 目	平成24年度（9月末現在）			平成23年度（9月末現在）			予算現額 増 減 (A)-(C)	収入済額 増 減 (B)-(D)
	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	予算現額 (C)	収入済額 (D)	収入率 (D/C)		
市 税	2,727,168	1,594,586	58.5	2,810,313	1,667,570	59.3	△83,145	△72,984
地方譲与税	96,101	29,136	30.3	83,400	27,126	32.5	12,701	2,010
利子割交付金	9,200	3,423	37.2	7,000	4,170	59.6	2,200	△747
配当割交付金	6,000	1,648	27.5	2,900	4,096	141.2	3,100	△2,448
株式等譲渡所得割交付金	2,000	0	0.0	2,000	0	0.0	0	0
地方消費税交付金	252,800	133,670	52.9	260,300	141,261	54.3	△7,500	△7,591
自動車取得税交付金	33,400	12,420	37.2	25,000	5,682	22.7	8,400	6,738
国有提供施設等所在市町村助成交付金	243,400	0	0.0	243,200	0	0.0	200	0
地方特例交付金	8,500	7,578	89.2	40,900	46,737	114.3	△32,400	△39,159
地方交付税	6,500,000	4,655,112	71.6	6,200,000	4,674,615	75.4	300,000	△19,503
交通安全対策特別交付金	2,000	1,072	53.6	2,015	0	0.0	△15	1,072
分担金及び負担金	120,961	50,298	41.6	126,729	48,681	38.4	△5,768	1,617
使用料及び手数料	226,757	103,910	45.8	235,726	110,564	46.9	△8,969	△6,654
国庫支出金	1,218,053	491,648	40.4	1,438,963	639,812	44.5	△220,910	△148,164
県 支 出 金	950,715	101,888	10.7	978,558	120,522	12.3	△27,843	△18,634
財 産 収 入	46,764	16,165	34.6	22,084	7,378	33.4	24,680	8,787
寄 附 金	917	3,035	331.0	1,417	1,695	119.6	△500	1,340
繰 入 金	280,368	0	0.0	73,667	0	0.0	206,701	0
繰 越 金	84,285	707,820	839.8	251,366	535,152	212.9	△167,081	172,668
諸 収 入	403,959	66,887	16.6	386,094	66,378	17.2	17,865	509
市 債	2,053,000	0	0.0	1,668,568	0	0.0	384,432	0
合 計	15,266,348	7,980,296	52.3	14,860,200	8,101,439	54.5	406,148	△121,143

2 一般会計歳出予算現額及び支出済額科目別状況

平成24年9月末における、歳出予算現額に対する執行率は37.3%で、支出済額は56億9,651万5千円である。平成23年度と比較した場合、予算現額は4億614万8千円の増、支出済額は4億734万1千円の減となっている。

第2表 歳出の状況

(単位：千円，%)

科 目	平成24年度（9月末現在）			平成23年度（9月末現在）			予算現額 増 減 (A)-(C)	支出済額 増 減 (B)-(D)
	予算現額 (A)	支出済額 (B)	執行率 (B/A)	予算現額 (C)	支出済額 (D)	執行率 (D/C)		
議 会 費	177,929	93,159	52.4	192,515	100,736	52.3	△14,586	△7,577
総 務 費	2,076,400	759,805	36.6	2,561,156	980,297	38.3	△484,756	△220,492
民 生 費	4,009,805	1,942,085	48.4	4,026,695	1,851,549	46.0	△16,890	90,536
衛 生 費	1,677,353	365,239	21.8	1,309,117	225,166	17.2	368,236	140,073
労 働 費	47,944	27,177	56.7	122,933	49,189	40.0	△74,989	△22,012
農林水産業費	812,556	344,773	42.4	687,583	294,383	42.8	124,973	50,390
商 工 費	171,980	99,774	58.0	161,754	99,282	61.4	10,226	492
土 木 費	1,792,156	553,348	30.9	1,658,199	644,295	38.9	133,957	△90,947
消 防 費	638,966	268,245	42.0	640,305	271,988	42.5	△1,339	△3,743
教 育 費	1,430,694	406,791	28.4	1,076,398	429,221	39.9	354,296	△22,430
災害復旧費	25,000	7,176	28.7	18,166	607	3.3	6,834	6,569
公 債 費	2,337,626	808,885	34.6	2,322,944	1,153,193	49.6	14,682	△344,308
諸 支 出 金	45,832	20,058	43.8	64,734	3,950	6.1	△18,902	16,108
予 備 費	22,107	0	0.0	17,701	0	0.0	4,406	0
合 計	15,266,348	5,696,515	37.3	14,860,200	6,103,856	41.1	406,148	△407,341

3 特別会計歳入予算現額及び収入済額科目別状況

平成24年9月末における、歳入予算現額に対する収入率は特別会計の総合計で44.5%、収入済額は37億2,416万6千円である。平成23年度と比較した場合、特別会計全体で予算現額は3億3,576万円の増、収入済額は1億355万8千円の増となっている。

平成23年度と比較して予算現額が大幅に増額となったのは、介護保険(保険事業勘定)特別会計、地域開発事業特別会計の2会計である。反対に、予算現額が減額となったのは、国民健康保険特別会計1,730万円、住宅新築資金等貸付事業特別会計600万円の減となっている。

第3表 歳入の状況

(単位：千円，%)

会 計	平成24年度(9月末現在)			平成23年度(9月末現在)			予算現額 増減 (A)-(C)	収入済額 増減 (B)-(D)
	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	予算現額 (C)	収入済額 (D)	収入率 (D/C)		
国民健康保険	4,220,000	1,864,106	44.2	4,237,300	1,895,022	44.7	△17,300	△30,916
後期高齢者医療	424,000	235,544	55.6	392,000	233,901	59.7	32,000	1,643
介護保険(保険事業勘定)	3,420,230	1,526,720	44.6	3,223,270	1,358,739	42.2	196,960	167,981
介護保険 (介護サービス事業勘定)	19,400	8,131	41.9	17,000	6,893	40.5	2,400	1,238
住宅新築資金等 貸付事業	29,400	14,833	50.5	35,400	27,533	77.8	△6,000	△12,700
港湾管理	50,100	19,470	38.9	49,000	24,106	49.2	1,100	△4,636
地域開発事業	145,700	143	0.1	24,100	15,189	63.0	121,600	△15,046
宿泊施設事業	59,800	55,219	92.3	54,800	59,225	108.1	5,000	△4,006
合 計	8,368,630	3,724,166	44.5	8,032,870	3,620,608	45.1	335,760	103,558

4 特別会計歳出予算現額及び支出済額科目別状況

平成24年9月末における、歳出予算現額に対する執行率は特別会計の総合計で38.9%、支出済額は32億5,486万3千円である。平成23年度と比較した場合、特別会計全体で予算現額は3億3,576万円の増、支出済額は1,219万1千円の減となっている。

第4表 歳出の状況

(単位：千円，%)

会 計	平成24年度(9月末現在)			平成23年度(9月末現在)			予算現額 増減 (A)-(C)	支出済額 増減 (B)-(D)
	予算現額 (A)	支出済額 (B)	執行率 (B/A)	予算現額 (C)	支出済額 (D)	執行率 (D/C)		
国民健康保険	4,220,000	1,663,298	39.4	4,237,300	1,724,248	40.7	△17,300	△60,950
後期高齢者医療	424,000	186,330	43.9	392,000	171,478	43.7	32,000	14,852
介護保険(保険事業勘定)	3,420,230	1,352,305	39.5	3,223,270	1,307,410	40.6	196,960	44,895
介護保険 (介護サービス事業勘定)	19,400	4,800	24.7	17,000	5,355	31.5	2,400	△555
住宅新築資金等 貸付事業	29,400	107	0.4	35,400	12,556	35.5	△6,000	△12,449
港湾管理	50,100	22,047	44.0	49,000	20,750	42.3	1,100	1,297
地域開発事業	145,700	304	0.2	24,100	227	0.9	121,600	77
宿泊施設事業	59,800	25,672	42.9	54,800	25,030	45.7	5,000	642
合 計	8,368,630	3,254,863	38.9	8,032,870	3,267,054	40.7	335,760	△12,191

5 収入未済額の状況

平成24年度及び平成23年度9月末現在の収入未済額は、下記のとおりである。上半期が終了した時点での収入率が50%を超えていない会計もあるが、これは国民健康保険税に代表されるように、制度上、1年分を7月以降8回に分けて納付するようになっているため、納期がまだ到来していないものもあることが理由である。

第5表 一般会計の収入未済額状況

(単位：千円，%)

科目	平成24年度（9月末現在）				平成23年度（9月末現在）			
	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	調定額	収入済額	収入未済額	収入率
市 税	2,861,864	1,594,586	1,267,278	55.7	2,932,577	1,667,570	1,265,007	56.9
分担金及び負担金	134,455	50,298	84,157	37.4	126,992	48,681	78,311	38.3
使用料及び手数料	370,607	103,910	266,697	28.0	349,803	110,564	239,239	31.6
諸 収 入	90,688	66,887	23,801	73.8	90,023	66,378	23,645	73.7
合 計	3,457,614	1,815,681	1,641,933	52.5	3,499,395	1,893,193	1,606,202	54.1

第6表 国民健康保険税の収入未済額状況

(単位：千円，%)

区分	平成24年度（9月末現在）				平成23年度（9月末現在）			
	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	調定額	収入済額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	1,098,159	263,984	834,175	24.0	1,086,410	261,579	824,831	24.1

第7表 後期高齢者医療保険料の収入未済額状況

(単位：千円，%)

区分	平成24年度（9月末現在）				平成23年度（9月末現在）			
	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	調定額	収入済額	収入未済額	収入率
後期高齢者 医療保険料	317,113	134,368	182,745	42.4	289,823	138,026	151,797	47.6

第8表 介護保険料の収入未済額状況

(単位：千円，%)

区分	平成24年度（9月末現在）				平成23年度（9月末現在）			
	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	調定額	収入済額	収入未済額	収入率
介護保険料	606,268	270,333	335,935	44.6	233,294	234,879	△1,585	100.7

※平成23年度の収入未済額について、△は9末日現在で調定もれによるもの。

本来の調定額477,887円，収入済額233,923千円，収入未済額245,083千円，収入率48.9%である。

第9表 住宅新築資金等貸付事業収入未済額状況

(単位：千円，%)

区 分	平成24年度（9月末現在）				平成23年度（9月末現在）			
	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	調定額	収入済額	収入未済額	収入率
諸 収 入	339,480	14,588	324,892	4.3	337,680	13,323	324,357	3.9

6 平成24年度滞納繰越金収入状況

前年度以前から平成24年度に繰越された滞納繰越金について、平成24年4月から9月末までに徴収した金額は、次のとおりである。調定額は対前年度比で2,863万8千円の増となっている。収入率は前年度と比べて0.2%低下し5.3%となっており、収入済額は対前年度比で146万1千円の減となっている。

第12表 滞納繰越金収入状況

(単位：千円，%)

区 分	平成24年度（9月末現在）					平成23年度（9月末現在）				
	調定額	収入済額	不納 欠損額	収 入 未済額	収入率	調定額	収入済額	不納 欠損額	収 入 未済額	収入率
市税										
市民税（個人）	111,283	9,085	0	102,198	8.2	109,533	8,857	0	100,676	8.1
市民税（法人）	2,691	151	0	2,540	5.6	2,818	162	0	2,656	5.7
固定資産税	169,432	13,032	0	156,400	7.7	166,278	11,320	0	154,958	6.8
軽自動車税	7,670	692	0	6,978	9.0	7,370	510	0	6,860	6.9
たばこ税	-	-	-	-	-	0	32	0	△ 32	-
分担金及び負担金										
保 育 料	22,414	911	0	21,503	4.1	19,633	848	0	18,785	4.3
一時保育料	15	3	0	12	20.0	28	0	0	28	0.0
延長保育料	70	13	0	57	18.6	37	5	0	32	13.5
放課後児童クラブ	84	14	0	70	16.7	95	25	0	70	26.3
使用料及び手数料										
港湾使用料 （係船料）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
港湾使用料 （一般使用料）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
住宅使用料	201,083	4,986	0	196,097	2.5	173,106	4,739	0	168,367	2.7
住宅駐車場使用料	656	26	0	630	4.0	592	66	0	526	11.1
墓地管理手数料	9	0	0	9	0.0	0	0	0	9	-
財産貸付収入	3,628	260		3,368	7.2	2,726	226	0	2,500	8.3
自立更正資金貸付元利収入	4,812	95	0	4,717	2.0	5,018	96	0	4,922	1.9

区 分	平成24年度（9月末現在）					平成23年度（9月末現在）				
	調定額	収入済額	不納 次損額	収 入 未済額	収入率	調定額	収入済額	不納 次損額	収 入 未済額	収入率
雑入										
給食事業収入	4,623	1,395	0	3,228	30.2	5,293	999	0	4,294	18.9
生活保護費徴収金	6,370	509	0	5,861	8.0	5,642	807	0	4,835	14.3
特別障害者手当過払分	-	-	-	-	-	55	5	0	50	9.1
児童手当過払い分	20	0	20	0	0.0	20	0	0	20	0.0
子ども手当過払分	104	0	0	104	0.0	52	0	0	52	0.0
児童扶養手当過払分	2,278	662	0	1,616	29.1	-	-	-	-	-
公共施設使用料 （三高棧橋）	46	0	0	46	0.0	58	0	0	58	0.0
国民健康保険税										
一般被保険者医療	271,213	17,695	0	253,518	6.5	285,694	21,070	0	264,624	7.4
一般被保険者後期高齢者	31,860	2,889	0	28,971	9.1	28,236	3,771	0	24,465	13.4
一般被保険者介護	36,662	2,153	0	34,509	5.9	37,668	3,246	0	34,422	8.6
退職被保険者医療	7,160	711	0	6,449	9.9	10,265	1,583	0	8,682	15.4
退職被保険者後期高齢者	730	83	0	647	11.4	655	153	0	502	23.4
退職被保険者介護	1,406	156	0	1,250	11.1	1,583	223	0	1,360	14.1
一般被保険者返納金	470	436	0	34	92.8	251	248	0	3	98.8
後期高齢者医療保険 （普通徴収）	974	123	0	851	12.6	750	319	0	431	42.5
介 護 保 険 料 （普通徴収）	7,984	1,405	0	6,579	17.6	8,447	941	0	7,506	11.1
住宅新築資金等貸付金元利収入	308,960	6,043	0	302,917	2.0	302,913	4,753	0	298,160	1.6
奨学金貸付償還金	3,085	210	0	2,875	6.8	2,999	191	0	2,808	6.4
港湾管理										
定期船使用料	0	0	0	0	-	551	4	0	547	0.7
西沖荷さばき地使用料	0	0	0	0	-	384	0	0	384	0.0
船舶給水施設使用料 （小用港水道代）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
船舶給水施設使用料 （三高港水道代）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
船舶給水施設使用料 （小用港電気代）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
船舶給水施設使用料 （三高港電気代）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
船舶給水施設使用料 （小用港下水道代）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
港湾用地使用料 （小用港）	0	0	0	0	-	404	0	0	404	0.0
合 計	1,207,792	63,738	20	1,144,034	5.3	1,179,154	65,199	0	1,113,964	5.5

※平成23年度市税のたばこ税の収入未済額について、△は平成23年9月末日現在で調定もれによるもの。本来の調定額32千円、収入未済額0千円、収入率100.0%である。

※平成23年度墓地管理手数料の調定額が0円となっているものは、平成23年9月末日現在で調定もれによるもの。10月12日に調定済。本来の調定額9千円、収入未済額9千円、収入率0.0%である。

- ※平成24年度港湾使用料(係船料)の調定額が0円となっているものは、9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額927千円、収入未済額927千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度港湾使用料(一般使用料)の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額227千円、収入未済額227千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度定期船使用料の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額1,801千円、収入未済額1,801千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度西沖荷さばき地使用料の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額768千円、収入未済額768千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度船舶給水施設使用料(小用港水道代)の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額38千円、収入未済額38千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度船舶給水施設使用料(三高港水道代)の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額284千円、収入未済額284千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度船舶給水施設使用料(小用港電気代)の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額19千円、収入未済額19千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度船舶給水施設使用料(三高港電気代)の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額5千円、収入未済額5千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度船舶給水施設使用料(小用港下水道代)の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額30千円、収入未済額30千円、収入率0.0%である。
- ※平成24年度港湾用地使用料(小用港)の調定額が0円となっているものは、平成24年9月末日現在で調定もれによるもの。10月17日に調定済。本来の調定額404千円、収入未済額404千円、収入率0.0%である。

7 財産管理等の状況

現金及び証書類等の保管に関しては、地方交付税をはじめ、国・県からの交付金等の歳計現金及び基金は、定期預金及び普通預金で運用されており、適切な資金需給に努めている。また、県民税、保証金、市営住宅敷金等の歳計外現金も、適切に管理されている。各支所、出張所において保管しているつり銭用現金については、良好に管理されている。

8 公用車の配属車両数及び稼働並びに管理状況

企業局を除く公用車の配属車両数を見ると、平成23年9月末と比較して全体で2台減となっている。

次に、平成24年4月から9月末までの半年間の公用車稼働状況を見ると、一般車両で1ヶ月の平均稼働日数が5日未満の車両が7台、5日以上10日未満の車両が21台あった。各部署の業務内容及び業務量に応じた適切な車両配置を行い、また管理及び使用についても、最小の経費で最大の効果を得られるよう配慮されたい。

なお、管理状況については、走行記録簿は、概ね適切に記入され管理されていることが窺えたが、大部分の部署で給油状況の記入がなされていないところがあった。今後適正な車両配置を行う資料となるので、管理者において指導を徹底されたい。

消防車の出動状況は、平成23年10月から平成24年9月末までの1年間で242件あり、うち江田島町が83件と最も多く、次いで大柿町の67件、能美町の52件、沖美町の40件となっている。誤報・非火災は各町合計で8件発生している。

また、救急車の出動状況は、平成23年10月から平成24年9月末までの1年間で1,412件あり、うち江田島町、大柿町が492件と多く、次いで、能美町の271件、沖美町の157件となっている。交通事故による出動は大柿町が最も多く28件、急病による出動は江田島町が最も多く277件、転院搬送による出動は各町合計で346件あったが、そのうち大柿町が202件で、58.4%を占めている。出動区分を見ると、急病が776件と最も多く、次いで転院搬送が346件、一般負傷が177件、交通事故が75件となっている。

平成23年10月から平成24年9月における市内の救急車出動件数は前年に比べて101件減少している。以前は、中に救急搬送の必要がないと思われるものも多く含まれていたが、徹底した周知・指導等により減少しつつある。地形的にも広範囲に亘る活動の中で緊急時に適切な対応ができるよう、今後も広報・指導等を通じて周知され、さらなる人命救助活動されることに期待する。

第13表 配属車両数

(単位：台)

区分	H24.9月末現在	H23.9月末現在	対前年度比
市長部局	111	113	△2
教育委員会	26	26	0
議会事務局	1	1	0
消防本部	59	59	0
合計	197	199	△2

※企業局は除く。

第14表 公用車稼働状況

(単位：台)

月平均稼働日数	一般車両	特殊車両	合 計
5日未満	7	10	17
5日以上10日未満	21	7	28
10日以上15日未満	35	7	42
15日以上20日未満	55	6	61
20日以上	17	10	27
合 計	135	40	175

※調査期間：平成24年4月～9月（6ヶ月間）

※消防分団のポンプ車37台は除き、企業局の車両15台を含む175台について集計した。

※特殊車両とは、消防署所属の救急車・消防車等、保冷車、塵芥車、身体障害者対応車を指す。

なお、スクールバスは一般車両として集計した。

※平均稼働日数は、小数点第1位を四捨五入して集計した。

第15表 消防車の出動状況

(単位：件)

区 分		平成23年10月～平成24年9月末					平成22年10月～平成23年9月末				
		合計	江田島町	能美町	沖美町	大柿町	合計	江田島町	能美町	沖美町	大柿町
火 災	建 物	10	3	2	2	3	10	3	2	1	4
	林 野	1	0	0	0	1	3	0	1	1	1
	車 両	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	船 舶	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	そ の 他	14	6	2	3	3	14	3	2	3	6
	小 計	28	11	4	6	7	28	6	5	5	12
救 助	火 災	0	0	0	0	0	3	0	0	1	2
	交 通	3	1	1	0	1	6	1	3	0	2
	そ の 他	5	0	1	2	2	4	2	1	0	1
	小 計	8	1	2	2	3	13	3	4	1	5
警 戒	火災と疑わしい	14	4	2	2	6	12	2	3	3	4
	漏 洩	11	2	2	1	6	15	5	4	1	5
	そ の 他	10	7	3	0	0	14	7	3	3	1
	小 計	35	13	7	3	12	41	14	10	7	10
誤報・非火災		8	3	0	2	3	1	0	0	0	1
救急支援		152	48	39	25	40	141	57	32	16	36
その他(捜索・豪雨)		11	7	0	2	2	7	3	2	0	2
合 計		242	83	52	40	67	231	80	50	28	62

第16表 救急車の出動状況

(単位：件，人)

区 分	平成23年10月～平成24年9月末					平成22年10月～平成23年9月末				
	合計	江田島町	能美町	沖美町	大柿町	合計	江田島町	能美町	沖美町	大柿町
交通	75	24	18	5	28	92	25	20	9	38
加害	7	0	6	0	1	4	3	0	0	1
水難	2	0	0	2	0	1	0	0	0	1
火災	2	1	0	1	0	2	1	1	0	0
労働災害	11	3	2	5	1	19	9	3	5	2
運動競技	2	0	1	0	1	5	0	0	1	4
一般負傷	177	59	29	31	58	231	70	57	40	64
自損行為	10	4	3	0	3	13	7	2	2	2
急病	776	277	195	108	196	762	263	167	120	212
転院搬送	346	122	17	5	202	384	134	22	13	215
その他	4	2	0	0	2	0	0	0	0	0
合計	1,412	492	271	157	492	1,513	512	272	190	539
搬送人員	1,328	459	251	146	472	1,445	485	261	178	521

9 公印管理の状況

平成23年10月以降，新調及び廃止した公印はない。

市長部局の公印印影使用申請件数は平成23年10月～平成24年9月末までの間に3件であり，適正に処理されている。

10 出勤簿及び休暇簿の状況

出勤簿については，摘要欄への記入方法が取扱要領に沿っていないもの及び下欄の集計部分に記入もれが多く見受けられた。また，休暇簿については，休暇の区分の記入もれや，休暇時間数の累計等の誤記入が見受けられたものの，おおむね適正に処理されている。なお，出勤簿及び休暇簿の誤記入等による訂正は，修正液で処理をせず訂正印で処理されたい。

11 施設の利用状況

(1) 集会施設等の利用状況

関係部局から提出された平成24年度及び平成23年度上半期中の市有施設の利用状況は次のとおりである。施設の利用状況は全体的に減少している。特に宮ノ原コミュニティホーム（江田島町）、北高下集会所（江田島町）、立石集会所（江田島町）、山の手集会所（大柿町）の4施設については、平成24年度、23年度の上半期では利用されていない。他の施設にあっても、利用回数と利用人数共に減少している施設が見受けられる。施設の目的と利用率、それに伴う維持管理費等を含み、「公共施設見直しの基本方針」に則って、慎重かつ早急に今後の方針を図られたい。

なお、施設の集約及び今後の方向性を検討する上で、正確な利用状況把握は欠かせないので、施設使用簿等の記入を徹底され、定期的な利用状況をつかんでおくことが必要である。また、現存の施設を市民のニーズに沿って、いかに最大限に有効利用できるかについて具体策を検討されたい。

引き続き現存の施設にあっては、今後もさらに安全対策について万全を期されることを願う。

第17表 施設の利用状況

各年度調査期間：4月～9月末（6ヶ月間）

（単位：回、人）

区 分	平成24年度		平成23年度		対前年度増減	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
江田島コミュニティセンター 江田島町)	422	5,476	381	6,148	41	△ 672
江南ふれあいセンター 江田島町)	200	2,447	184	3,030	16	△ 583
沖美ふれあいセンター (沖美町)	88	4,688	99	4,905	△ 11	△ 217
中郷コミュニティホーム (江田島町)	22	461	58	1,120	△ 36	△ 659
向側コミュニティホーム (江田島町)	9	165	12	325	△ 3	△ 160
山田コミュニティホーム (江田島町)	17	406	3	100	14	306
大須コミュニティホーム (江田島町)	8	257	1	60	7	197
宮ノ原コミュニティホーム (江田島町)	0	0	0	0	0	0
江田島老人福祉センター (江田島町)	328	2,921	359	2,869	△ 31	52
大柿老人福祉センター (大柿町)	40	1,228	47	1,241	△ 7	△ 13
矢ノ浦老人集会所 (江田島町)	12	407	11	340	1	67
小用老人集会所 (江田島町)	8	196	57	720	△ 49	△ 524
幸ノ浦老人集会所 (江田島町)	21	192	41	479	△ 20	△ 287
大須老人集会所 (江田島町)	20	79	13	40	7	39
津久茂老人集会所 (江田島町)	—	—	20	185	—	—
江田島大原老人集会所 (江田島町)	7	150	6	135	1	15
石風呂老人集会所 (江田島町)	50	432	50	566	0	△ 134
中町老人集会所 (能美町)	9	131	10	124	△ 1	7

区 分	平成24年度		平成23年度		対前年度増減	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
鹿川老人集会所 (能美町)	15	163	25	266	△ 10	△ 103
高田老人集会所 (能美町)	—	—	—	—	—	—
是長老人集会所 (沖美町)	67	681	63	612	4	69
美能老人集会所 (沖美町)	7	1	8	106	△ 1	△ 105
三高老人集会所 (沖美町)	44	458	44	485	0	△ 27
沖老人集会所 (沖美町)	66	575	70	554	△ 4	21
大附老人集会所 (大柿町)	2	19	1	5	1	14
飛渡瀬老人集会所 (大柿町)	109	2,198	90	1,912	19	286
柿浦老人集会所 (大柿町)	24	365	38	431	△ 14	△ 66
深江老人集会所 (大柿町)	42	1,948	35	936	7	1,012
小古江老人集会所 (大柿町)	79	670	83	814	△ 4	△ 144
新開老人集会所 (大柿町)	18	231	16	169	2	62
大原老人集会所 (大柿町)	46	295	48	471	△ 2	△ 176
大君ふれあいプラザ (大柿町)	78	672	82	642	△ 4	30
北高下集会所 (江田島町)	0	0	0	0	0	0
西沖集会所 (江田島町)	4	83	26	127	△ 22	△ 44
立石集会所 (江田島町)	0	0	0	0	0	0
東の浜集会所 (沖美町)	11	128	9	163	2	△ 35
山の手集会所 (大柿町)	0	0	0	0	0	0
引島集会所 (大柿町)	1	22	0	0	1	22
坊地集会所 (大柿町)	1	30	1	40	0	△ 10
寄涛集会所 (大柿町)	2	63	5	425	△ 3	△ 362
楠田集会所 (大柿町)	0	0	1	50	△ 1	△ 50
大盤集会所 (大柿町)	0	0	0	0	0	0
内海集会所 (大柿町)	28	246	22	210	6	36
平塩郷土記念館 (大柿町)	0	0	1	4	△ 1	△ 4
宮ノ原隣保館 (江田島町)	434	2,004	500	1,998	△ 66	6
鹿川文化センター (能美町)	341	1,709	262	1,172	79	537
三高会館 (沖美町)	1,388	3,710	935	4,381	453	△ 671
大柿厚生文化センター (大柿町)	205	1,382	256	1,504	△ 51	△ 122
子育て支援センター (江田島町)	127	7,612	137	5,394	△ 10	2,218
津久茂児童館 (江田島町)	126	1,002	137	5,394	△ 11	△ 4,392
中町児童館 (能美町)	150	5,158	124	794	26	4,364
高田児童館 (能美町)	126	1,428	147	3,772	△ 21	△ 2,344
柿浦児童館 (大柿町)	115	1,878	128	279	△ 13	1,599
江田島公民館 (江田島町)	353	3,537	125	2,203	228	1,334

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 3 年度		対前年度増減	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
鷺部公民館 (江田島町)	248	2,986	240	3,015	8	△ 29
秋月公民館 (江田島町)	166	1,634	149	1,501	17	133
切串公民館 (江田島町)	411	4,000	392	3,923	19	77
宮ノ原公民館 (江田島町)	70	997	68	1,053	2	△ 56
大須公民館 (江田島町)	46	420	64	829	△ 18	△ 409
中町公民館 (能美町)	506	5,778	544	6,504	△ 38	△ 726
鹿川公民館 (能美町)	207	2,424	196	2,317	11	107
高田公民館 (能美町)	176	2,586	186	2,735	△ 10	△ 149
沖美公民館 (沖美町)	215	1,633	202	2,059	13	△ 426
大柿公民館 (大柿町)	635	9,049	624	9,392	11	△ 343
武道館 (江田島町)	—	2,528	—	2,327	—	201
スポーツセンター (能美町)	—	13,812	—	14,974	—	△ 1,162
学びの館 (江田島町)	—	3,107	—	3,788	—	△ 681
ふるさと交流館 (江田島町)	—	5,408	—	4,220	—	1,188
宮ノ原水産振興センター (江田島町)	13	135	15	194	△ 2	△ 59
海辺の新鮮市場 (江田島町)	—	22,744	—	20,714	—	2,030
農村環境改善センター (能美町)	91	4,241	65	3,016	26	1,225
灘尾記念文庫 (大柿町)	—	278	—	241	—	37

※表中、「—」の部分は集計資料がないことを示す。

※高田老人集会所は、平成 23 年 7 月 1 日廃止。

※津久茂老人集会所は、平成 24 年 4 月 1 日廃止。

(2) 市立図書館の利用状況

平成 2 4 年度及び平成 2 3 年度上半期の図書館の利用状況は江田島図書館が 1,751 件の増、能美図書館は 8 2 件の減となっている。平成 2 4 年度 9 月末現在の蔵書数は、平成 2 3 年度の同時期と比較して江田島図書館、能美図書館共に増加している。貸出件数は、能美図書館の児童図書減少があるが、江田島図書館では一般図書をはじめ全体的に増加している。総体的に見てみると、両館において利用状況等、増加傾向である。

第 18 表 市立図書館の利用状況 (単位：件)

区 分	利 用 件 数		
	平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	対前年度増減
江田島図書館	10,398	8,647	1,751
能美図書館	9,396	9,478	△ 82

※調査期間：各年度 4 月～9 月末まで (6 ヶ月間)

第 19 表 市立図書館の蔵書数及び貸出件数

区 分	蔵 書 数			貸 出 件 数			
	平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	対前年度増減	平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	対前年度増減	
江田島図書館	一般図書	36,484	34,880	1,604	16,898	15,391	1,507
	児童図書	13,116	12,200	916	12,295	7,978	4,317
	CD	1,173	1,126	47	2,666	2,572	94
	LD	32	32	0			
	ビデオテープ	703	705	△ 2			
	DVD	241	190	51			
	紙芝居	108	107	1	1,016	805	211
	雑誌	824	845	△ 21			
	合 計	52,681	50,085	2,596			
能美図書館	一般図書	18,978	17,211	1,767	16,011	15,971	40
	児童図書	8,057	7,291	766	9,075	9,999	△ 924
	CD	342	330	12	2,772	2,645	127
	DVD	533	517	16			
	ビデオテープ	214	217	△ 3			
	紙芝居	150	149	1			
	雑誌	473	441	32	1,478	1,343	135
	合 計	28,747	26,156	2,591	29,336	29,958	△ 622

※蔵書数は各年度の9月末現在，貸出件数は各年度4月～9月末までの6ヶ月間を集計。

(3) プールの利用状況

平成23年度より，利用人数が最も多くなったのは切串プールで，前年度と比較して214人の増となっている。全体的な利用人数は減少している。中でも，今年度最も利用人数が減少したのは鹿川プールで，前年度と比較して123人の減である。平成24年度においてはプールでの事故は幸いにして皆無であった。今後も監視体制に万全を期されることを望む。

第 20 表 プールの利用状況

プール一般開放期間中の集計

(単位：人)

区 分	平成 2 4 年度			平成 2 3 年度			対前年 度増減	施設所管課
	大人	小人	合計	大人	小人	合計		
江田島大原プール (江田島町)	359	906	1,265	349	919	1,268	△ 3	生涯学習課
江田島プール (江田島町)	50	906	956	150	923	1,073	△ 117	学校教育課
切串プール (江田島町)	124	700	824	79	531	610	214	学校教育課
高田プール (能美町)	29	355	384	59	351	410	△ 26	学校教育課
能美プール (能美町)	19	296	315	23	194	217	98	学校教育課
鹿川プール (能美町)	2	679	681	2	802	804	△ 123	学校教育課
三高プール (沖美町)	15	474	489	18	431	449	40	学校教育課
大古プール (大柿町)	17	885	902	97	907	1,004	△ 102	学校教育課
合 計	615	5,201	5,816	777	5,058	5,835	△ 19	

12 契約事務の状況

財政課で入札の方法により契約を行ったのは、平成 2 4 年度 9 月末までの上半期で 1 0 4 件あり、契約はすべて指名競争入札となっている。そのうち、落札に至るまでの入札回数が 1 回であったものが 1 0 0 件で、入札全体の 90.9%となっている。また、入札不調が 4 件、不落随契が 2 件となっている。

各課において締結した契約を調査すると、随意契約がかなりの数を占めており、さらに予算額と契約額が同一のものが多く見受けられた。また、1 社のみの見積もりにより随意契約が行われている事例や単価契約も多数あった。単価契約においては、1 年間の支払総額で入札対象となるので留意されたい。契約の性質又は目的により、競争入札に適しないものと思われるが、慎重に行われることを望む。

第 21 表 入札の件数及び平均落札率

種 別	件 数	平均落札率
一般競争入札	0 件	0.0%
指名競争入札	110 件	86.6%
建設工事	42 件	86.9%
業務委託	52 件	74.2%
その他	16 件	90.0%

第 22 表 落札までの入札回数

落札までの入札回数	件 数
1 回	100 件
2 回	6 件
3 回以上	4 件

第 23 表 落札率の件数

落札率	件数
90%未満	62件
90%以上95%未満	20件
95%以上	22件

※第 21～23 表は、平成 24 年 4 月～9 月末までに
財政課で入札により締結した契約

第 24 表 契約の件数

部・課名		入札		随意契約		合計 (財政課 契約の入札を除く)	うち予算額と契約 額が同額のもの
		財政課契約	各課契約	数社見積	1社見積		
総務部	総務課	0	0	0	10	10	4
	財政課	3	0	0	13	13	8
	企画振興課	1	0	1	27	28	20
	危機管理課	2	0	3	2	5	1
	政策推進室	1	0	0	1	1	0
	小計	7	0	4	53	57	33
市民生活部	市民生活課	0	0	3	10	13	9
	税務課	0	0	0	4	4	3
	収納推進課	0	0	2	0	2	0
	環境課	21	0	1	15	16	3
	江田島支所	1	0	0	17	17	16
	沖美支所	0	0	1	9	10	9
	三高支所	0	0	0	2	2	2
	大柿支所	0	0	0	2	2	2
	小計	22	0	7	59	66	44
福祉保健部	社会福祉課	0	0	1	8	9	3
	保健医療課	1	0	1	18	18	3
	高齢介護課	0	0	1	30	31	1
	子育て支援センター	0	0	0	4	4	1
	小計	1	0	3	60	62	8
産業部	農林水産課	10	0	4	20	24	17
	商工観光課	0	0	3	21	24	8
	小計	10	0	7	41	48	25
土木建築部	建設課	26	0	0	41	41	5
	都市整備課	6	0	3	5	8	2
	下水道課	14	2	0	39	41	21
	小計	46	2	3	85	90	28

部・課名		入札		随意契約		合計 (財政課 契約の入札を除く)	うち予算額と契約 額が同額のもの
		財政課契約	各課契約	数社見積	1社見積		
教育委員会	学校教育課	7	0	19	19	38	20
	生涯学習課	2	0	9	46	55	30
	小計	9	0	28	65	93	50
消防本部		9	0	0	3	3	2
議会事務局		0	0	0	0	0	0
選挙管理委員会		0	0	0	0	0	0
農業委員会		0	0	0	1	1	1
企業局(水道事業)		0	1	0	19	20	14
企業局(交通船事業)		0	0	0	0	0	0
合計		104	3	52	386	440	205

※平成24年4月～9月末までに締結した契約。

※財政課契約は、財政課で契約した全ての件数。

※各課契約・数社見積・1社見積は、委託契約の件数。

13 施設監査

企業局の交通船で、高速船「ニュー千鳥」の施設監査を行った。船内の清掃は適宜されており、消火器及び救命用具も指定された場所に設置、収納されている。

第25表 企業局交通船内視察結果

項	目	高速船 ニュー千鳥		
進	水	日	平成13年5月	
建	造	所	株式会社 木曾造船	
全	長		25.08m	
	幅		6.80m	
定	員		223人	
航	海	速	力	約29.00ノット
総	ト	ン	数	79トン
監	査	日	平成24年11月29日(木)	
乗	船	時	間	11時10分 宇品発中町行き
乗	客	員	数	大人19人, 子ども0人 計19人

14 公営企業会計上半期損益状況

(1) 下水道事業

下水道事業の収益は4億6,569万3千円で、うち営業収益が4億950万9千円、営業外収益が5,618万4千円となっている。収益の主なものは営業収益のうち的一般会計負担金で、2億9,060万円である。営業費用は3億1,094万円で、主なものは、減価償却費の1億7,145万5千円である。

第26表 下水道事業損益計算書

(単位：千円)

区 分	平成24年9月末	平成23年9月末	前年比増減 (A) - (B)
	金額 (A)	金額 (B)	
収益	465,693	515,816	△50,123
営業収益	409,509	444,749	△35,240
下水道使用料	103,296	72,327	30,969
農業集落排水使用料	15,436	14,328	1,108
一般会計負担金	290,600	358,000	△67,400
その他営業収益	177	94	83
営業外収益	56,184	71,067	△14,883
受取利息	16	6	10
一般会計補助金	56,000	71,000	△15,000
雑収益	168	61	107
費用	381,273	344,382	36,891
営業費用	310,940	263,073	47,867
管渠費	15,015	12,108	2,907
処理場費	85,591	77,216	8,375
普及促進費	14,716	14,216	500
総係費	24,163	20,631	3,532
減価償却費	171,455	138,902	32,553
営業外費用	70,333	81,309	△10,976
支払利息及企業債取扱諸費	70,293	81,309	△11,016
雑支出	40	0	40
当年度純損益	84,420	171,434	△87,014
前年度繰越利益剰余金	8,376	8,376	0
当年度末処分利益剰余金	92,796	179,810	△87,014

(2) 水道事業

水道事業の収益は3億8,249万2千円で、うち営業収益が3億8,115万9千円、営業外収益が133万3千円となっている。営業収益の年度比較をすると、前年度3億7,721万円に対して、今年度は3億8,115万9千円で、394万9千円の増収となっている。収益の主なものは営業収益のうちの給水収益で、3億7,051万7千円である。営業費用は前年度2億7,149万8千円に対して、今年度は2億7,260万9千円で、111万1千円の増となっている。

第27表 水道事業損益計算書

(単位：千円)

区 分	平成24年9月末	平成23年9月末	前年比増減 (A) - (B)
	金額 (A)	金額 (B)	
収益	382,492	378,740	3,752
営業収益	381,159	377,210	3,949
給水収益	370,517	370,838	△321
受託工事収益	494	1,984	△1,490
その他営業収益	10,148	4,388	5,760
営業外収益	1,333	1,530	△197
受取利息及び配当金	909	1,146	△237
負担金	0	0	0
雑収益	424	384	40
費用	298,248	300,168	△1,920
営業費用	272,609	271,498	1,111
原水及び浄水費	78,634	84,608	△5,974
配水及び給水費	38,282	29,931	8,351
受託工事費	3,134	4,333	△1,199
業務費	29,493	31,893	△2,400
総係費	34,100	33,097	1,003
減価償却費	87,796	86,441	1,355
資産減耗費	0	0	0
その他の営業費用	1,170	1,195	△25
営業外費用	25,639	28,670	△3,031
支払利息及企業債取扱諸費	25,639	28,475	△2,836
雑支出	0	195	△195
当年度純損益	84,244	78,572	5,672
前年度繰越利益剰余金	283,136	468,756	△185,620
当年度未処分利益剰余金	367,380	547,328	△179,948

(3) 交通船事業

交通船事業の収益は2億17万7千円で、うち営業収益が1億9,989万2千円、営業外収益が28万5千円となっている。営業収益の年度比較をすると、前年度2億563万円に対して、今年度は1億9,989万2千円で、573万8千円の減収となっている。収益の主なものは営業収益のうち的高速客収入9,646万6千円、定期客収入8,616万7千円である。営業費用は前年度2億5,573万3千円に対して、今年度は2億7,096万3千円で、1,523万円の増となっている。

第28表 交通船事業損益計算書

(単位：千円)

区 分	平成24年9月末	平成23年9月末	前年比増減 (A) - (B)
	金額 (A)	金額 (B)	
収益	200,177	220,336	△20,159
営業収益	199,892	205,630	△5,738
高速客収入	96,466	101,584	△5,118
定期客収入	86,167	92,588	△6,421
荷物収入	31	45	△14
貸船収入	3,000	0	3,000
臨時運航収入	14,228	11,413	2,815
雑収入	0	0	0
営業外収益	285	14,706	△14,421
受取利息	8	3	5
保険金収入	167	506	△339
雑収入	110	145	△35
一般会計補助金	0	14,052	△14,052
費用	272,199	257,114	15,085
営業費用	270,963	255,733	15,230
運航費	256,731	240,846	15,885
業務費	14,232	14,887	△655
営業外費用	1,236	1,381	△145
支払利息	1,226	1,381	△155
保険金費用	0	0	0
雑費	10	0	10
当年度純損益	△72,022	△36,778	△35,244
前年度繰越利益剰余金	△471,109	△459,452	△11,657
当年度末処分利益剰余金	△543,131	△496,230	△46,901

第6 まとめ

平成24年11月、「交流！創造！実感！」のキャッチフレーズで、市長2期目が始まった。財政困難な江田島市においても、何かを掴み、何かを創造し、何かをやり遂げるという意気込みを抱きながら、前を向いているところである。また、平成24年12月16日に行われた衆議院総選挙において、民主党から自民党に政権交代した。この結果が、わが国が世界の中で、どのような動きをしていくのか。わが国の経済状況の持ち直しにどう影響していくのか。私たちが日々生きていくということに対し、どのような影響があるのだろうか懸念される場所である。

また、平成24年12月2日、山梨県の中央自動車道・笹子トンネルで起きたコンクリート製天井板の崩落事故が起った。懸念されてきたインフラ老朽化問題が最悪の形で顕在化した。この事故が日本経済を一段と苦しめかねない一件となってしまった。本市に照らし合わせてみると、江田島市が管理する道路橋は、高度経済成長期からバブル期に多くの橋梁が建設されている。今後10～20年後にかけて、急速に老朽化が進行していく見込みである。市内の道路網の安全性並びに信頼性を確保するため、平成24年5月に「江田島市橋梁長寿命化修繕計画」が策定された。ハコモノと称する公共施設についても同様である。「公共施設見直しの基本方針」に則り、人口減少に伴い使用頻度が激減している施設がゴースト化していくのを防ぎ、既存施設の統合整備や維持管理に目を向け、安全と安心が必ず確保できるよう、市民の現状のニーズに沿った対策を望むところである。

今後さらに、温かく明るい江田島市であるためにも、選択と集中による事務・事業の重点化を図り、サービスを提供するための土台となる行財政改革の計画的な取り組みを要望する。

なお、主な指摘・要望事項は次のとおりである。昨年度の指摘事項が今年度もそのまま指摘事項としてあげられているものもある。これらは、予算や市民の意向等がなくても改善できる職員としての基本的なことである。間違いは気づいたときに、即改める等職員一人ひとりが基本を重んじ、建設的に職務を遂行されることを強く期待する。

- ① 平成22年4月1日から江田島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例が改正されたことに伴い、年次有給休暇と勤務時間の振替の取扱いも変更になっている。しかし、関係書類において、平成21年度以前の制度のまま整理されている等の部署も見受けられた。早急に改められたい。
- ② 時間外勤務及び休日勤務について、職員により時間外勤務時間数に偏りが見受けられた。部課内での調整を図り、職員一人ひとりの健康管理に努めることを強く望む。
- ③ 税・料等の滞納対策について、長期にわたる滞納者の他市町への転出や、死亡により徴収不可能となっているケースが見受けられた。長期滞納者となる前の段階での徴収の強化や、縁故者の確保に徹底し努められたい。さらに『徴収すること』に特化し、関連部署との連携協力のもと、工夫し強化する努力を強く望む。図らずも徴収することが望めない場合には、法に則り不納欠損等適切な処理を行い、未収金をそのままにすることのないよう進められたい。

最後に、今回の監査を実施するにあたって関係各位の協力により順調に監査を実施できたことに感謝する。